

JIS

未加硫ゴム—物理特性—
第2部：振動式加硫試験機による
加硫特性の求め方

JIS K 6300-2 : 2001

(JRMA/JSA)

(2006 確認)

平成 13 年 1 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法第12条第1項の規定に基づき、日本ゴム工業会(JRMA)/財団法人日本規格協会(JSA)から工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

これによってJIS K 6300:1994は廃止され、この規格を含む以下の3部の規格に置き換えられる。

JIS K 6300-2には、次に示す附属書がある。

附属書1(参考) ねじり振動式加硫試験における最大トルクと最大変位トルク

附属書2(参考) 各種振動式加硫試験における校正方法の実例

附属書3(参考) スコーチタイム t_{SX} を定めるトルク値Xの実例

附属書4(参考) JISと対応する国際規格との対比表

JIS K 6300の規格群は、次に示す部構成となっている。

JIS K 6300-1 第1部:ムーニー粘度計による粘度及びスコーチタイムの求め方

JIS K 6300-2 第2部:振動式加硫試験機による加硫特性の求め方

JIS K 6300-3 第3部:ラピッドブラストメータによる可塑度及び可塑度残留指数の求め方

主務大臣:経済産業大臣 制定:平成 13. 1. 20

官報公示:平成 13. 1. 22

原案作成者:日本ゴム工業会(〒107-0051 東京都港区元赤坂1丁目5-26 東部ビル2F TEL 03-3408-7101)

財団法人日本規格協会(〒107-8440 東京都港区赤坂4丁目1-24 TEL 03-5770-1573)

審議部会:日本工業標準調査会 化学部会(部会長 三田 達)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室[〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1 TEL 03-3501-1511(代表)]にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

未加硫ゴム—物理特性— K 6300-2 : 2001

第2部：振動式加硫試験機による加硫特性の求め方

Rubber, unvulcanized—Physical property—

Part 2 : Determination of cure characteristics with oscillating curemeters

序文 この規格は、1999年に改訂版として発行されたISO 6502 : 1999, Rubber—Guide to the use of curemetersを元に作成した日本工業規格であるが、対応国際規格にない規定項目を一部追加した。さらに、対応国際規格の一部を変更及び削除した。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項又は変更した事項である。

警告 この規格の利用者は、通常の実験室での作業に精通しているものとする。この規格は、その使用に関して起こるすべての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な処置を確立しなければならない。

1. 適用範囲 この規格は、振動式加硫試験機を用いて、配合ゴムの加硫過程の物理特性を求める方法について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を示す記号は、ISO/IEC Guide 21に基づき、IDT(一致している)、MOD(修正している)、NEQ(同等でない)とする。

ISO 6502 : 1999, Rubber—Guide to the use of curemeters (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発行年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の制定版・追補には適用しない。発効年を付記してない引用規格は、その最新版(追補を含む)を適用する。

JIS K 6200 ゴム用語

備考 ISO 1382 : 1996, Rubber—Vocabularyからの引用事項はこの規格の該当事項と同等である。

JIS K 6250 加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの物理試験方法通則

JIS K 6253 加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法

JIS K 6299 ゴム—試験用試料の作成方法

JIS Z 2245 ロックウェル硬さ試験方法

JIS Z 8401 数値の丸め方

ISO 3417 : 1991 Rubber—Measurement of vulcanization characteristics with the oscillating disc curemeters

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義は、JIS K 6200によるほか、次による。

- a) **ディスク加硫試験機** [oscillating disc curemeter (ODC)] ロータ形加硫試験機とも呼ばれる。温度制御がなされ、試料が充てんされているダイ中空部の中に、ねじり振動を行う両円すいディスク(ロータ)を有する振動式加硫試験機。